

評価結果

1. 特徴

1	発達援助	保育の方針は職員と保護者に周知徹底されている。特に配慮が必要な子どもには丁寧に対応している。バイキング方式の食事など、楽しく食事をとる工夫がなされている。
	保育内容	四季折々の自然に触れ、五感を研ぎ澄ますような保育を目指し、発達を促す遊具や遊べる場を増やしていくなどの工夫がみられる。遊びのための環境構成において年齢・月齢ごとの配慮がなされている。
2	子育て支援	在園児の保護者への育児支援は、生活記録表の中の連絡欄、個別面談を通じて細やかに行われている。地域の子育て家庭に対する育児相談や親子交流会などが実施されている。
3	地域等連携	保育園の子どもたちが地域の行事に参加することや、地域の小中学校との交流を密に行い、連携がとられている。保育実習、中高生の保育体験、ボランティアの受け入れなども良好である。
4	運営管理	保育の質の向上のため、また保護者に対応できる保育士に成長するため、保育士のレベルアップを目標として全職員が研修を受けられるように努めており、今後の保育の質のさらなる向上に期待が持てる。

2. 課題

保育内容の充実と施設・設備の環境整備が望まれる。また、自治会などとの更なる連携の充実や、保護者との情報交換の記録などの整備がさらに求められる。

3. 利用者からの概評

利用者の評価は概ね良好である。保育士と子ども・保護者とのコミュニケーションがとれている。園舎が新しく設備が充実しており、安全面に配慮されている。食事は、無添加無着色のものを使い、化学調味料など一切使用せず、地場産野菜などを使用し、安心・安全な食事への工夫や、食べものチェックリストを使用し、食物アレルギーに対しての配慮が見られる。

4. 総合所見

園長のもと、一人ひとりの子どもを大切にし、子どもの意志を尊重し、多くのことを体験できる、子ども目線に立っている保育を目指して保育士の研修も活発に行われている。保護者への情報提供が十分なされており信頼を得ている。

5. キーワード

創造的な保育への挑戦、保育環境の充実、自己啓発